

五分館だより

第43

第15号
豊丘村公民館
第五分館
編集社
印刷 横濱

堀越の今日

平成15年4月現在
戸 数 88戸
人 口 366人
(男174・女192)

より出していただき様交渉したところ、結局史学会の役員が中心になり編集の運びと成りました。

5年間の集大成 世に伝える 堀越のあゆみ完成

先の区長さんより話題があがり、現区長さんより史学会の方々への編集の問い合わせとなり、検討の結果委員選出については、区全体

堀越青少年育成会（お別れ会）

益々の成長を願つて

春三月、卒業のシーズン——行いました

を迎える。堀越育成会の二大イベントのひとつ、「お別れ会」を去る三月十六

「別れ会」を云ふ三月一六日午前九時より午後一時三十分まで堀越区民会館にて

今年の卒業生は中学生が四名、小学生が七名となりました。

は体も大きくなり、又立派な礼儀道徳、知識を身に付け下級生のよきお兄さんや、お姉さんに成長しました。

中学生は三年間で知識を更に伸ばし、部活で体力もつけ著しい成長が感じられました。また、思春期で難しい時期でもあります。そんな卒業生を中心には、四七名（含保育園児）で盛大なお別れ会となりました。

史料提供が重要になります。そこで河野さんからは、特別な古い史料を御提供されまして、私ども大変な喜びがありました。

唯編集の中では、これも載せたい、あれも書きたいと感じつつ五年と言うものが短く終わってしまいまして。た。

れていれば良かつたに」とつくづく感じましたが幸い歴代史学会の先輩の方々が記事にして残された立派な史料が多くあり、一安堵でありました。そして特に調査の出来ないところは、筋を通すために村史、郡史、組合史並びに村の資料館の借りたりしなければならずあらゆる手を尽くし、区内外の方々の原稿と史料を提出して頂きました。これは区全体の皆様の仕事であつ

たことを夜になつて、在庫の史料と照らし合わせながら記帳をし、雨降りに記事にしたりして一部は大変なお骨折りをいたいたことを報告させていただきます
私はこの編集については「もつと一代二代前に区史となる概要だけでも記載さ

つた感じであります。又、委員の方々にはその場その場で勉強をしながらコツコツと調査編集された事について深甚の感謝を申し上げる次第あります。なるべく現代向きに、読み易く写真等多く取り込んだりしたつもりでしたが、あゆみの後記に武田良実さんが記されたように重要項目の落しや間違い疑問な点等、多少見えてまいり調査を進行するにつれてその責任の重さを感じ、区史としてではなく

あまり大きな問題もなく
こんな大事業が終わつた事
を大変うれしく思い御協力
いただいた皆様に厚く御礼
申し上げます。

団の事は何か分かりません
でした。しかし公民館PT
Aを通じて少しつづ様子が
分かつて来ました。もち
ら二度、三度のことで今後



行事は例年と同じで中学校卒業生と小学生全員と役員の父兄が堀越主要道路の空缶、ゴミ拾い区民会館で分別し、中学一年二年の男子はカーペット拭き館内の掃除、食事会場の準備をし、中学一・二年の女子と中学役員のお母さんが共同で食事の用意、カレーライス、サラダ、デザートを作りました。十一時三十分より食事開始、全員でお皿を持つて行き盛りつけてもら

い食事を戴きました。十二時三十分よりお別れ会開始卒業生が在学生の拍手に迎えられて入場し、壇上にて全員からあいさつを戴きました。

中学生はお別れ会のお礼を述べ在学生への激励をし小学生はお別れ会のお礼を述べ中学生になる決意を言いました。卒業生に図書券がプレゼントされ終了。その後ビンゴゲームを行い参加者全員賞品を受け取りました。

なぜ「クマシロ」と読むのかと聞かれました。そこで村の公民館で文献等を調べてみましたが良く分かりません。ただ、「常盤草」には神稻をクマシロと読むのは、供米代の意味である。とあります。（神稻学校長堀尾睦郎の現代語訳）この供米とは「くまい」といって神に供えるお米のことを言います。また、「米」や「くま」は供米の為に用い

いました。卒業生に図書券がプレゼントされ終了。その後ビンゴゲームを行い参加者全員賞品を受け取りました。

最後に今、堀越育成会は五八名の子供がいます。父兄の方も役員を数回経験しなくてはならず負担も多い訳ですが、このこども達がたくましく成長しこれからの堀越の活性化に人力してくれるものと確信します。

供米とは「くまい」といつて神に供えるお米のことを言います。また、「米」や「くま」は供米の為に用いる稱、「くましね」と呼ばれていました。（改定食品 辞典）どうもこの辺に答えらしきものがあるような気がします。ともあれ、地名の由来を探つてみると不思議がいっぽいです。

黑谷箋

米山清隆

駒沢 久保田和博

